

2009年度

科目名	法と社会		
担当教員	浅野 宜之		
配当	教福3	コード	15320
開期	通年	講時	月曜日5限
		単位数	4
授業テーマ	法についての基礎的な知識を得、これにもとづいて社会や人のあり方を考える。さらに、人権および国家統治にかかわる法制度についても学ぶ。		
目的と概要	われわれの生活は、さまざまな側面で「法」と関係している。本講義では、その中の代表的な事項に焦点を当て、「法」がいかなる形で規定しているかを概観する。これを通じて、社会のあり方を考える機会としていただきたい。また、われわれの人権にかかわる法制度や、国家の統治システムについても学ぶ機会としたい。		
成績評価法	期末試験の結果に平常点を加味して評価する。		
テキスト	『現代法学を学ぶ人のために(第二版)』中川淳(編)世界思想社		
参考書	デイリー六法(三省堂)		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 法とは何か 2. 法の体系 3. 裁判と法(1):さまざまな裁判 4. 裁判と法(2):司法制度改革もふまえて 5. 財産法の原則 6. 取引の主体:人 7. 取引の客体:所有権を中心に 8. 契約 9. 不法行為と損害賠償 10. 最近の判例から 11. 親族法の原則 12. 婚姻、離婚 13. 親子、扶養 14. 相続 15. 中間まとめ 16. 法と国家 17. 人権保障と憲法(1):自由権 18. 人権保障と憲法(2):社会権 19. 刑事法の原則 20. 現代社会と刑法 21. 刑事手続き 22. 裁判員制度 23. 労働法の原則 24. 労働基準法(1) 25. 労働基準法(2)、労働組合法など 26. 国家統治と法(1):立法 27. 国家統治と法(2):行政 28. 国際社会と法(1) 29. 国際社会と法(2) 30. まとめ 			